

はじめに

本書は、口腔内規格写真撮影に必要な構図などの知識はもちろん、各部位における撮影手順を詳細にまとめた一冊です。

口腔内写真撮影を検査のルーティンに組み込むには、撮影は1人で行い、患者さんに痛みを与えずに、10分以内に撮影を終えられることが理想です。

口腔内写真の撮影法のみならず、写真の説明や読み取り方なども解説し、口腔内写真を臨床で幅広く活用していただきたいという思いから、企画しました。

本書の初版発刊は2016年です。あれから約10年が経ちました。

現在も私は現場に立ち続けながら、全国の歯科医院で歯科衛生士の育成に携わっています。そのなかで、変わらず確信していることがあります。

口腔内写真が変わると、歯科衛生士は変わる。

歯科衛生士が変わると、歯科医院が変わる。

これは理論ではなく、現場で何度も見てきた事実です。

口腔内写真は、ただの記録写真ではありません。診断の精度を上げ、治療計画を整理し、患者さんと同じゴールを目指すための「共通言語」です。

写真があるだけで、説明が変わり、チームの連携が変わり、患者さんの理解と信頼が、目に見えて変わっていきます。

自信は、才能から生まれるものではありません。

“根拠をもてた瞬間” に生まれます。

口腔内写真は、その根拠をつくるための最短ルートのひとつです。

本書『New Edition』では、初版でお伝えした考え方や技術はそのままに、“より見やすく、より現場で使いやすい一冊”へとブラッシュアップしました。

忙しい臨床の合間に、必要なページをすぐに開けたり、新人あるいは経験を積んだ歯科衛生士さんの「いまこれが知りたい」にすぐ届く構成になっています。

本書が、読者の皆様の臨床を支える“相棒”として、そして患者さんとの信頼関係を深めるための“武器”として、これからもそばに置いてもらえる一冊になればうれしく思います。

2026年1月

株式会社 K's シャープニング 代表取締役／歯科衛生士
落合真理子